

令和5年度予算に対する各会派の意見

政友会

令和5年度一般会計予算額は、合併以降最大となる519億円となり、景気回復への強い願いが感じられる。事業に関しては、「地域活性化の推進」「GXおよびDXへの投資」「包摂社会の実現」に重点を置く予算となっており評価できる。当会派では、古河市サッカー場を含めたスポーツ施設の充実を特にお願する。

渡邊 澄夫 佐藤 泉 大島 信夫
鈴木 務 小森谷博之 赤坂 育男
鈴木 隆

古河市公明党

市民生活の安心安全と中長期的な未来の都市づくりを見据えたバランスのとれた予算編成である。当会派の要望施策である①デマンドタクシーの市内全域運行②RPAを活用した業務の効率化③LED照明の拡充④重層的支援体制および伴走型支援体制の整備拡充等が盛り込まれ、市民サービスの向上に寄与しており予算に賛成する。

高橋 秀彰 佐藤 稔
鶴見久美子 渡辺 松男

真政会

いまだ、コロナ禍にあるものの市税および地方交付税等の増収が見込まれ、地方債残高を大きく減らせる予算となっている。歳出では、新駅設置や筑西幹線道路の整備・延伸、(仮称)新公会堂の計画策定、高等教育機関誘致の検討、未来産業用地開発事業など、先導的プロジェクトへの意気込みが感じられる予算で賛成する。

黒川 輝男 園部 増治
青木 和夫 稲葉 貴大

市民ベースの会

歳入は、法人市民税の回復見込みから、市民の期待を裏切らないコロナ後の政策立案が課題となる。歳出は、地域活性化推進、GX・DX投資、包摂社会実現、さらなる行政サービスの充実やゼロベースの(仮称)新公会堂整備は複合施設も視野に、市民の意見や要望を最大限に取り入れた基本構想・計画策定を望む。

落合 康之 増田 悟
倉持 健一 阿久津佳子
長浜 音一 生沼 繁

会派に属さない議員

令和5年度予算は、過去最大級の予算編成でアフターコロナ対策に関して、各分野に適正に配分されていると考えるが、今後の補正予算で、物価高対策費のさらなる拡充を望む。

小山 高正

市民ニーズを反映させる新規事業、事業拡充は評価できる。老人福祉センター運営ビジョンは、ハードからソフトへのシフトについて丁寧に市民に説明し、理解を得る努力を求める。

古川 一美

デマンド交通「愛・あい号」の市内全域運行、空き家リフォーム補助、公立保育所の長寿命化等は評価するが、県事業の筑西幹線道路や未来産業用地など開発優先の新年度予算に反対。

秋庭 繁